

JICA 草の根事業 第二回本邦研修実施報告

勝又 美穂子

グローバル D&I 推進室 准教授

接合科学研究所では、2024 年度より国際協力機構（JICA）の支援を受け、ハノイ工科大学とともに草の根技術協力事業を実施しています。本事業は「ハノイ工科大学における溶接管理技術者育成能力向上」を目的とする 5 年間の取り組みです。接合科学研究所や大阪大学の教員、企業の専門家等による技術移転を通じて、実践的な教育・研究能力の向上、企業との研究連携の強化、溶接管理技術者講習・試験の現地実施に向けた体制整備を進めています。

この活動の一環として、2026 年度の本邦研修を 9 月 9 日～9 月 17 日の期間で実施しました。今回は、ハノイ工科大学機械工学部溶接学科の教員 4 名、同大学副学長 1 名、ベトナム商工省 1 名、科学技術省 1 名の計 7 名が参加しました。大学教員に加えて政府関係者も参加し、教育・研究の実践にとどまらず、産学官連携の可能性を検討する機会となりました。

大阪では、接合科学研究所における各研究室からの研修に加え、瀬尾高圧工業の三日市工場を訪問しました。同工場では圧力容器の製造現場等を見学し、同社の技術や事業展開について意見交換を行いました。ベトナム側参加者からは、同社が有する特殊技術に対して高い関心が示され、今後ベトナムで進められる科学技術関連事業や産業分

野において、同社に協力を依頼したいとの意見も寄せられました。

関東では、神奈川県川崎市殿町にある島津製作所の東京イノベーションプラザを訪問し、教育・研究の現場で日常的に使用される観察機器や組織観察に関する装置について学びました。さらに、東京で開催された「2026 国際ウェルディングショー」に参加しました。同展示会では、世界各国の最新の溶接技術に関する展示やセミナー等を通じて、先端技術の動向や溶接・接合分野の最新の研究開発に関する理解を深めました。

今回の研修で得られた知識や知見は、ハノイ工科大学と大阪大学が連携する HUST-UOsaka に導入されているレーザー装置、シミュレーション機器、走査電子顕微鏡等を活用した教育・研究活動の拡充につながることを期待されます。また、ベトナム政府からハノイ工科大学に対して協力が求められている鉄道建設関連事業等についても、溶接・接合分野の技術研究や協力へと展開していくことが望まれます。

本邦研修を通じて構築・強化された大学、企業、政府機関のつながりを活かし、今後もベトナムにおける溶接技術者の育成と、実践的な研究・産学官連携の推進に取り組んでいきます。

(写真次ページへ続く)



接合研見学後（西川研の皆様と）



田中副所長による接合研紹介



接合研での講義（柴原研究室）



接合研研究室見学（塚本研究室）



瀬尾高圧工業にて



島津東京イノベーションプラザにて



2026 国際ウェルディングショーにて